

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスリミックス

支援プログラム（参考様式）

作成日

7年

2月

2日

法人（事業所）理念		第二の我が家					
支援方針		日常生活における基本的動作の習得及び集団生活に適応することができるよう、身体や発達状況に応じて立案した個別支援計画に基づき、適切かつ効果的な個別・集団療育を行う。					
営業時間		11時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	○あり なし
支 援 内 容							
健康・生活 運動・感覚 認知・行動 言語 コミュニケーション 人間関係 社会性	健康・生活	持ち物の管理（靴の整理・整頓、かばん・水筒・上着の管理）、手洗い・消毒、道具や遊具の用意と片付けが自立的に行えるよう支援を行う。生活リズムの安定（トイレ、水分補給など）。着替えは自ら行い服の前後、ボタンやファスナーかけを行い、自立できるように支援を行う。					
	運動・感覚	運動やダンス療育の場でのあいさつ。音楽に合わせたからだや手足の動かし方。指先のトレーニング、姿勢保持、静と動の時間の使い分け体験を通して養えるように取り組めるよう練習を行う。					
	認知・行動	視覚ツール（イラストやタイマーなど）を使った課題やプリント学習。個別の部屋を用意して視覚刺激の少ない環境を作る。必要に応じて、個別の感覚特性に配慮した環境を設定します。					
	言語 コミュニケーション	児童の特性やニーズに応じて絵カード手振り・手振りを使ったコミュニケーションを行い、自分の気持ちを伝えることができる。集団遊びの中で「一緒にあそぼ」「貸して」と伝えたり、「いいよ」「あとでね」と返事が返せる、スムーズにやり取りができる。					
	人間関係 社会性	集団活動や遊びの時間を通じて、順番に行う、ルールを守る、友達と協力するなど、他者と一緒に生活していくために必要なスキルを身につける機会を持つ。友達との関わり方に関して肯定的な関わり増えるように支援する。					
家族支援		定期的にご家族と面談を行い、モニタリングを行い、情報交換を行ったり、家庭での困りごとに対する助言やサポートを行っていきます。			移行支援		学校との連携
地域支援・地域連携		幼稚園・保育園・小学校との連携を行い、情報交換を行っていく。毎月子ども食堂を開催したり、青少年指導員にも参加し、地域の方と繋がっている。			職員の質の向上		一人一人の児童に対する担当者会議の実施。社内研修。ミーティング情報共有。
主な行事等		ダンスの発表会、ハロウィンパーティー、クリスマス会など					